

被爆 80 年・HICARE 設立 35 年記念国際シンポジウムについて

1 要旨・目的

被爆 80 年、HICARE 設立 35 年に当たり、原爆死没者を悼む慰霊行事を行い、平和な世界への思いを新たにするとともに、国内外で被爆者の診療を行っている医師等の放射線被ばく者医療についての知見を深め、被爆者の健康の保持及び増進を図るため、HICARE 及びその構成団体のこれまでの取組を振り返り、今後の展望を示す国際シンポジウムを開催する。

2 現状・背景

HICARE 及びその構成団体は、原爆被爆者の尊い犠牲をもとに蓄積してきた被ばく者医療や放射線障害の研究の成果を、世界の放射線被ばく者への医療に役立ててきた。

〔前回実施〕令和3年2月

「被爆 75 年・HICARE 設立 30 年・福島事故 10 年国際シンポジウム」

3 概要

(1) 実施主体

放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）

〔※ チョルノービリ原子力発電所事故の被害の実態が明らかになったことを契機に、1991 年、広島 of 被ばく者医療・研究機関に関わる 8 つの機関と広島県・広島市が共同で設立。〕

(2) 実施日時

令和 8 年 2 月 8 日（日）13 時 00 分～17 時 00 分

(3) 場所

広島国際会議場 国際会議ホール「ヒマワリ」（広島市中区中島町 1－5）

(4) 実施内容

- 開会行事
- 慰霊行事・黙とう
- 基調講演（国内の講演者 1 人 海外の講演者 1 人）（日本語・英語）
- シンポジウム第 1 部（パネリスト 6 人）（日本語）
- シンポジウム第 2 部（ディスカッション 10 人）（日本語・英語）
- 閉会行事

(5) その他

- 入場無料
- 日英の同時通訳、手話通訳あり